

事業の基礎情報

実施主体	グリーン交通グループ
事業実施地域	茨城県石岡市
共創の類型	官民共創、他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉
共創パートナー	グリーン交通茨城、市内の社会福祉法人（社会福祉法人陽山会）、石岡市福祉部社会福祉課、石岡市社会福祉協議会
運行形態	①実証事業として運行する交通モード：送迎タクシー ②一般乗用旅客自動車運送事業者
運行主体	グリーン交通茨城

現状・課題

（地域交通の現状・課題に関する分析）

石岡市内で障害者支援施設・特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・障害者福祉作業所などを展開している社会福祉法人において、通所利用者の送迎問題が長年の課題となっている。各施設で車両を準備して、職員が対応しているのが現状です。

費用を利用者から徴収する施設もあるが、無料で運行しているケースも見られます。職員の業務負担軽減・労働環境改善のためにも外部へ委託するべき業務であるが、なかなか実現できない状況です。

この実証事業は地域交通とは別の独立した業務ではあるが、障害者の方たちが乗合タクシー・デマンドタクシー・コミュニティバスなどの公共交通機関を利用出来るようになれば、将来的に地域交通として通所や買い物・通院などにも利活用できるようなシステムなり得ると考えます。

地域公共交通計画への位置づけ
（位置づけ予定を含む）

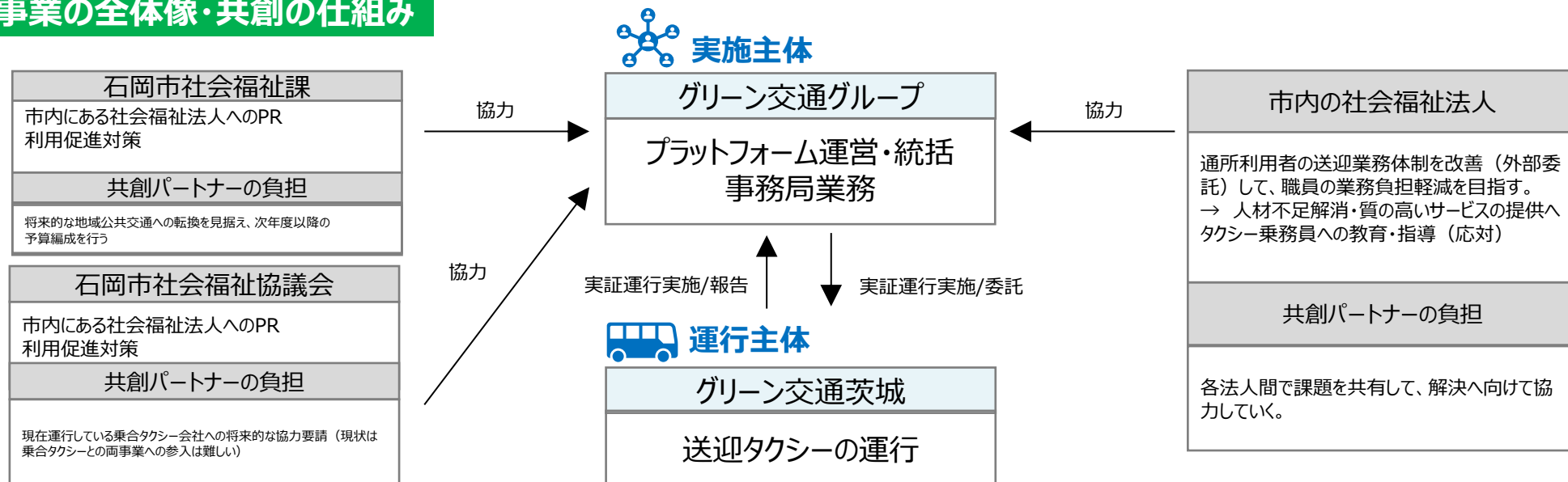
有（予定）※次年度予算申請予定

運輸局・運輸支局への事前相談

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

（事業の概要）

○市内で運営している障害者支援施設・特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・障害者福祉作業所などの通所者送迎を外部交通事業者へ委託する。現在は各施設職員が担当しているため、かなりの負担になっている。外部委託することで、職員の業務負担軽減につながり勤務環境の改善と質の高いサービスへつながると考えます。

（地域の関係者との連携・協働）

○グリーン交通茨城：送迎タクシーの運行。安全運転はもちろんだが、障害者や高齢者の利用となるため、乗降時のサポートなど配慮が不可欠。

実証運行期間前に、勉強会を実施します。（精神搬送、救急搬送などの実績のある交通事業者）

○各社会福祉法人間において、課題・問題点を共有いただき解決へ向けた有効な実証運行としていく。

（地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性）

○まずは施設ごとに運行を開始する。将来的には、法人・施設の垣根を越えた運行ルートを構築して、台数削減・車両変更（タクシーから小型バスなど）を行い、経費削減を進める。障害者の公共交通機関利用促進を目指し、環境を整える。（市による予算化）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
グリーン交通グループ			申請		プラットフォーム運営・統括							
グリーン交通茨城					実証運行の準備（勉強会実施）			実証運行				
各社会福祉法人					課題や問題点の抽出・共有 実証報告							
石岡市社会福祉課					課題や問題点の抽出・共有／実証報告／次年度予算編成へ向けた準備							
石岡市都市計画課					課題や問題点の抽出・共有／実証報告							
石岡市 社会福祉協議会					課題や問題点の抽出・共有／実証報告							

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

○まずは、施設職員の業務負担軽減・職場環境の改善を目的に実証運行を行うが、将来的には現在の地域交通（乗合タクシー）との統合を視野に石岡市との協力していく。（社会福祉課・都市計画課）

施設ごとの運行から施設の垣根を越えたエリア輸送へ移行して1台当たりの乗車人数が増えた場合には、車種変更・台数軽減をすることで経費削減を図る。（乗合タクシーやコミュニティバスを活用できるようになれば、さらに効率化につながるが、健常者との同乗については課題があるため、解決へ向けて自治体と協力して進めていく。

(地域全体に及ぶと想定される効果)

○今回の実証事業だけでは恐らくすべての課題解決は難しい。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

☐	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	☐	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
☐	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	☐	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

○石岡市では令和6年3月に「石岡市地域公共交通計画－概要版－」を策定しており、本年度より概ね5年間を目途に計画を進めていく予定です。

今回の実証運行は、公共交通機関の改善を主とした目的としていませんが、計画の中にある「福祉有償輸送」の改善と労働環境が厳しいと言われている福祉関係の労務改善に寄与すると考えます。まずは送迎業務から始まり、今後は買い物や通院など、車両の空き時間を有効活用した利用目的の拡大を目指します。石岡市社会福祉課にはすでに働きかけを行い、次年度の予算編成申請を行う予定との話をいただいております。

資金面	実施主体（グリーン交通グループ）で調達予定
人材面（運転手の確保）	運行主体（グリーン交通茨城）で確保済み